

団体名

NPOボラギャング

事業名

食を通じた健康づくりと 孤立・孤独を抱える すべての世帯が繋がる コミュニティ事業

活動拠点 札幌市北区(新琴似エリア)

設立の経緯

子どもの居場所が地域に少ないということを課題と感じ、地域コミュニティの創出と「こどもに優しいまちづくり」を目指しNPOボラギャングを設立。

私たちはこのような活動をしている団体です



子どもと地域住民の居場所づくりを行う団体です。子ども食堂を通して地域コミュニティを形成し、「学習サポート」「子育てサロン」「こども防災啓発活動」など定期イベントを開催することで、地域交流を促進しています。子どもたちの「やりたい」を形にし、意見を尊重しながら日々活動をしています。



「食」を通じた活動で 子どもや若者たちの居場所づくり

これまで「食」を通じた地域住民の居場所づくり活動を行うなかでたびたび目にしてきたのが、困りごとを抱えた方が日々我慢を強いられている現実でした。本事業はこの問題をきっかけに始めたもので、生活習慣病・介護の予防と改善・フレイル対策・孤立・孤独やひきこもりなどの地域課題の軽減を目的としています。具体的な事業内容は、子ども食堂による地域サポートと居場所づくり、地域住民の孤立・孤独を防ぐサロン活動、イベントを通じたコミュニティづくりなどです。子ども食堂は当団体事務所のほか、札幌市内地区センターなどでも開きました。食事の提供にとどまらず、遊びや学習のサポート、防災啓発活動も行って、こども・若者・子育て世帯の居場所、地域住民の方々とのつながる居場所づくりを行いました。

地域の人たちとの交流を深め、 未来へ向けた手応えを実感

本事業では食・体操・交流を通して、すべての世代が楽しみながら生活習慣病・介護の予防改善を行い、孤独・孤立を防ぐサロン活動などを行ってきました。事業を通じて地域の人たちとより深くつながることができ、困りごとを抱えた方の拠り所にもなることができたと思います。また、活動の中で生まれた学生ボランティア(大学生)と地域住民との交流は、一時的なもので終わらず、今後に向けた継続的サポートにつながるものとなっています。参加してくれた大学生にとっても社会参加による「生きがい」「やりがい」が得られ、「将来私もこんな場所を地域に作りたい」「交流が楽しかった」といった声が寄せられました。私たちの活動に対し大学生たちがこのように共感してくれたことに、次世代による活動に向けて大きな手ごたえを実感できました。

